

令和4年度

事業報告書

1. 総括

令和4年度 事業総括

新型コロナウイルス感染症は、我々の生活のすぐそばで拡大し、日々対応に追われながらの生活が東みよし町内でも続きました。社会活動が平常化されながらも、物価の急上昇が重なり家庭や地域内での福祉課題が顕著化し相談が増えました。課題解決のため、関係機関と連携し協働で各種事業に取り組み、地域包括ケアシステムの構築、見守り、交流、支えあい等、地域福祉活動の推進と介護保険事業、地域包括支援センターの事業を運営し「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」実現と地域福祉活動の啓発を行うと共に、これまでの活動への感謝の気持ちを込め「第7回東みよし町社会福祉大会」を開催致しました。

残念ながら新型コロナウイルス感染症は長期化し、本会におきましても感染を確認しクラスター認定され、事業の中止もありました。実施出来た事業につきましても感染症対策を継続し、利用者も支える方も、もどかしさを感じたことと思います。全職員が知恵と工夫を出し合い、今できることを精一杯やってきたこの3年間の経験と成果を本会の財産にします。この間我慢を重ね慎重にかつ大胆にそして何より大きな熱意を持って、ご協力・ご尽力いただいた皆様、地域福祉活動を継続され「支え愛」をご提供いただいた皆様に感謝申し上げます。

重点目標総括

① 社会福祉法人として健全運営と公益的な事業の強化

新型コロナウイルス感染症により社会経済情勢が不安定な中、社協会費、善意銀行へ高額のご寄付を賜りました。地域福祉の中核を担う組織として、局内連携と共通認識を強化するため、夕礼、月1度の管理職会議、研修を実施しました。ICTを活用したあらたな見守り活動を構築するための実証・検証事業を受託するなど、人件費の安定確保、人材の育成に努めました。

② 地域住民の参画と協働による地域福祉活動の推進

第3期地域福祉活動計画、生活支援体制整備事業第2層協議体からの地域課題抽出により、多くの地域福祉活動が実施されました。コロナ禍でも住民の皆様の創意工夫により、特に子どもたちの支援に主眼を置いた多くの事業を実施しました。参集し対面での地域福祉活動の良さを、初めて経験された方も多く好評であり、今後大きく発展していく期待が持てます。

③ 総合相談・生活支援体制の確立と機能強化

生活のしづらさを実感されている方の相談窓口として、総合相談機能を充実しました。また令和5年度より受託予定である権利擁護センター事業において、職員の資質向上に努めました。新型コロナウイルス感染症関連の相談は、直接的な経済支援が終了したことにより相談件数は減少したものの、償

還方法及び償還免除申請の相談等、今なお続く収入減少等による経済的な生活困窮状態の訴えは多くあります。さらに、今後社会が復旧していく中で、子育てや就労、言語の問題など幅広い支援が必要です。相談しやすい仕組みと関係を構築するため、SNSを使った相談受付や支援、フードバンク事業を活用した個別支援を実施しました。

④ 他機関との連携と情報共有の強化

社会福祉法人の連携を推進する第1回の準備会を開催し、協働による第7回社会福祉大会と防災フェスティバルを実施しました。参集で実施するため、多くの知恵を各法人からいただき、どちらも想定以上のご参加をいただきました。今後も法人連携をより充実させ、お互いが持ち合わせる機能を住民の方に気軽に活用いただける仕組み作りを目指します。

⑤ 災害時対応力の向上

自然災害、感染症共に対応した事業継続計画を常に見直しながら、平常業務を進めました。クラスター認定となり休止もありましたが、最短での事業再開ができました。西部圏域災害ボランティアセンター設置運営訓練はつるぎ町で実施され、参集とWEBによる研修に参加致しました。幸い町内及び県内では大きな災害が発生しておらず、災害ボランティアセンターを知らない職員も増えており、基礎基本を学ぶ良い研修となりました。

⑥ 介護保険サービスの質の向上と人材育成の強化

感染症予防対策を徹底し通常運営をして参りましたが、8月にクラスター認定となり1日休止致しました。通所介護事業は、感染者が増大した後も利用者数が減少し、コロナ禍3年目も非常に難しい運営となりました。目標と定めた利用率80%はかなわず単年度赤字決算となると共に、運転資金の確保がままならず他の会計より借り入れるなど、厳しい経営状況となりました。また利用者の個別支援への要望が高く、通所介護の利用が減少し、訪問介護の利用が増大しており、担い手の確保や育成が急務であると感じています。

⑦ 地域包括支援センターの運営

東みよし町に即した地域包括ケアの実現に向けて、総合相談、権利擁護、個別地域ケア会議からの地域課題の抽出、介護支援専門員の資質向上、認知症への取り組み等に重点を置いたセンター運営を行いました。のびのび教室、搜索模擬訓練など、住民参加型のイベントも実施することができ、自助力・共助力の向上にもつながりました。

⑧ 退職世代の学び・交流・活動の場づくり

高齢者が自ら学び相互に支えあう仕組み作りと、経験や知識を活かして活動するシルバー大学校・大学院やシルバー人材センター事業は、3年ぶりに通年計画通りの事業が実施できた1年となりました。

総務課

事業運営の概要

1. 理事会・評議員会・監事会の開催状況

開催年月日	会議名	審議等事項
R4.5.19	監事会	令和3年度決算監査
R4.6.8	理事会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度事業報告・会計決算報告・監査報告について ②令和4年度第1回補正予算（案）について ③理事候補者の選定について ④評議員候補者の推薦について ⑤諸規定の一部変更について ⑥第1回評議員会（定時評議員会）の招集について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①善意銀行払出申込について ②会長及び常務理事の業務執行状況について
R4.6.23	評議員会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度事業報告・会計決算報告・監査報告について ②令和4年度第1回補正予算（案）について ③理事候補者の選任について
R4.12.16	理事会 （書面決議）	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①理事候補者の選定について ②評議員候補者の推薦について ③第2回評議員会の招集について
R4.12.16	評議員会 （書面決議）	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①理事の選任について
R4.12.20	理事会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第3回評議員会の招集開催について ②副会長の選任について ③令和4年度第2回補正予算（案）について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度上半期運営状況について ②令和4年度勤勉手当の支給について ③会長及び常務理事の業務執行状況について ④善意銀行払出申込について ⑤第7回社会福祉大会について
R5.12.20	評議員会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度第2回補正予算（案）について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度上半期運営状況について ②令和4年度勤勉手当の支給について ③会長及び常務理事の業務執行状況について ④善意銀行払出申込について ⑤第7回社会福祉大会について

R5.3.9	理事会	<p>議案</p> <p>①令和5年度 事業計画（案）について</p> <p>②令和5年度 当初収支予算（案）について</p> <p>③令和4年度 第3回補正予算（案）について</p> <p>④諸規定の変更について</p> <p>⑤第4回評議員会の招集について</p> <p>専決事項</p> <p>①第3回予算流用の報告について</p> <p>報告事項</p> <p>①善意銀行払出申込について</p> <p>②第7回社会福祉大会について</p>
R5.3.29	評議員会	<p>議案</p> <p>①令和5年度 事業計画（案）について</p> <p>②令和5年度 当初収支予算（案）について</p> <p>③令和4年度 第3回補正予算（案）について</p> <p>専決事項</p> <p>①第3回予算流用の報告について</p>

2. 社会福祉大会

テーマ 「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、通常開催いたしました。

式典では、長年にわたり、社会福祉の向上にご尽力された方々や、地域で模範となり活動されている方々へ、感謝の気持ちと今後のご活躍への期待を込めて表彰を行いました。

本大会は、住民の皆さんが一堂に会し地域課題を共有し、国や自治体に福祉施策の充実を求めるとともに、地域住民・行政・関係機関等が協働により地域福祉を推進し住民相互の「支え愛」による、安全で安心して生きがいをもって生活できる「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」東みよし町作りに、多年にわたり社会福祉活動の発展に功労のあった方々を顕彰し、地域住民の方々に福祉に対する意識と理解を深めていただくとともに、ボランティア活動への関心も高めていただけるよう、感謝の意を表すため今後も大会を開催していきたいです。

【開催日時】 令和5年3月11日（土）受付 9時30分～10時00分 社協集会室

【参加人数】 130人

【被表彰者】◇大会長表彰

民生委員・児童委員功労者	1名
🌸社会福祉事業功労者	
社会福祉協議会役職員	2名
社会福祉施設役職員	9名
老人福祉活動推進功労者	5名
障害者福祉活動推進功労者	3名
🌸ボランティア活動功労者	2名
🌸ボランティア活動功労団体	1団体
🌸募金事業活動功労者	3名
◇大会長感謝	
🌸東みよし町社会福祉協議会会長感謝	2名

【記念講演】

「介助犬とともに ～身近な人に感謝して～」 講師 川上和彦氏&介助犬あさひ号

3. 広告宣伝活動

社協だよりを2回発行

- 1号 4,800部印刷 8月10日から 4,054世帯に配布
- 2号 4,710部印刷 2月10日から 4,042世帯に配布

ホームページやフェイスブックを通じた情報提供を行い、ホームページ上ではふれあい・いきいきサロンマップ、AEDマップを掲載し情報を可視化しています。



東みよし町社協
ホームページ



東みよし町社協
フェイスブック



ふれあい・
いきいきサロンマップ



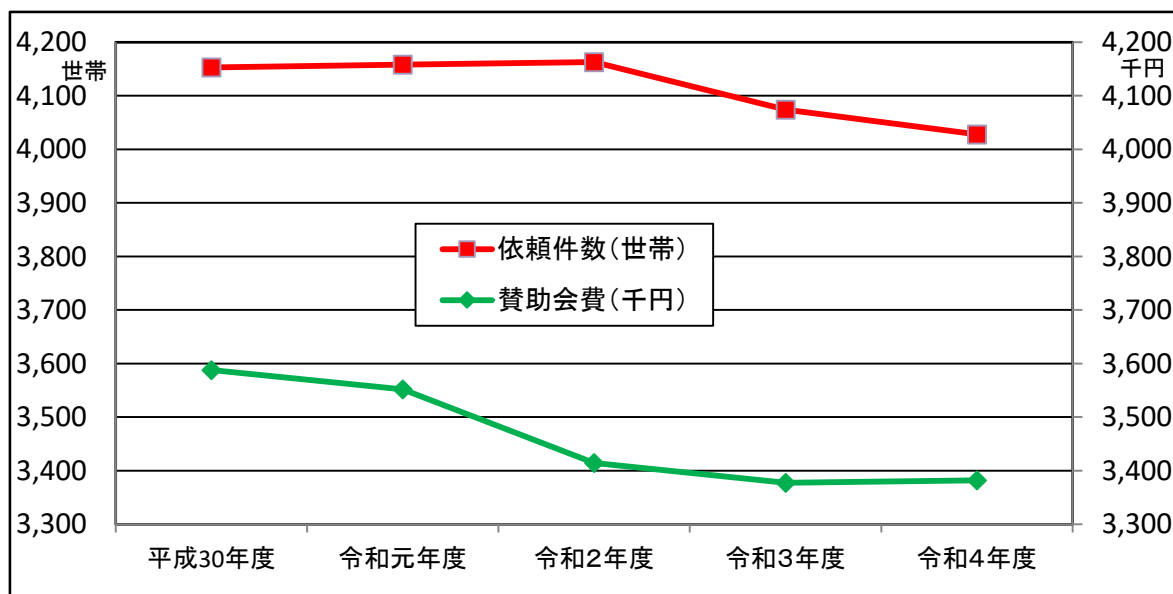
東みよし町
AEDマップ

4. 社協賛助会員及び賛助会費

社協の事業は、県や町の補助金・受託金・共同募金の配分金・寄付金等だけでなく、社協の行う事業に賛同し、社協の理念・活動を支援していただける社協会員の皆様のご協力により成り立っております。

住民の皆様が住み慣れた地域で暮らせるために、高齢者・障害者支援、ボランティア活動支援、地域づくり支援（さんわ会）などの地域福祉充実を推進するための原資です。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
依頼件数(世帯)	4,153	4,158	4,163	4,074	4,028
賛助会費(千円)	3,588	3,552	3,415	3,378	3,382
加入率	86.40%	85.43%	82.02%	82.90%	83.96%



5. 善意銀行事業（預託実績）

町民の皆様から善意のこもった金銭や物品をお預かりし、その善意をさまざまな地域福祉事業等で役立てています。

安心して暮らせる福祉のまちづくりのために、善意銀行の趣旨をご理解いただき、町民の皆様の温かいご支援ご協力をお願い致します。

【令和4年度】

年月日	寄付申込者（敬称略）	自治会	預託金・物品
R4.4.20	スタジオFUNチャリティー文化祭	北村中	10,000 円
R4.6.16	匿名		150,000 円
R4.6.22	藤丸佳典	行安	30,000 円
R4.12.5	川野悦博	山根西	300,000 円
R4.12.14	スタジオFUN チャリティーフラパーティー	北村中	15,000 円
R4.12.19	三加茂ゴールドクラブ		85,942 円
R5.2.16	昭和有志ABC		177,615 円
R5.2.20	瀧川信行	伊月	50,000 円
合 計			現金 818,557 円

地 域 福 祉 課

地域福祉事業

1. さんわ会事業

地域の支え愛の再構築と地域課題の可視化、防災・減災活動として開催をいただいている。本年度は5年ぶりに開催いただいた自治会もあり、『久しぶりに地図を見直したけどだいぶ前と変わったなあ』『もっとたくさんの人に声かけて出てもらったらよかった』と地域活動や地域住民が主体の支え愛の再開を感じることができた1年となった。

	年月日	回数	主催	場所	人数	炊き出し	マップ	防災講話	その他
1	R04/05/08	6	光北自治会	光北集会所	40人		○	○	
2	R04/07/08	3	桑内自治会	桑内集会所	10人		○	○	
3	R04/11/06	7	足代婦人会	足代公民館	30人			○	
4	R05/03/26	5	五名上・下自治会	五名集会所	30人	○	○		○
5	R05/03/26	3	泉野自治会	五名集会所	5人	○	○		○
合計					115人				

2. 地域福祉活動推進事業

本年度はこれまで行われてきていた地域活動を再開される地域団体も多くあり、小学校や地域の拠点を中心とした活動を実践される団体の支援を行った。その一方、東山地区、増川地区で小学校を拠点に地域団体のみなさんにより冬季にサロンを行っていたが、地域住民の減少、担い手不足などから事業の実施が困難な地域もみられ、そういった地域・団体への積極的な関りが求められていると感じた。

	年月日	実施主体	場所	参加人数	事業内容
1	R04/06/05	絵堂っ子区楽部	絵堂小学校	38人	絵堂小学校美化活動
2	R04/10/05	西庄さんわ推進会	西庄池周辺	40人	西庄池周辺美化作業
3	R04/11/25	足代地域の防災を考える会	足代小学校	250人	足代地域防災研修
4	R05/03/13	西庄良所会	西庄公民館	40人	西庄サロン
合計				368人	

3. ふれあい・いきいきサロン支え隊事業【町受託事業】

高齢化やご近所による見守りや支えあいの希薄化が問題視される現状に鑑み、身近な地域で『気軽に』『楽しく』集まれる場所づくりのためにサロン活動の開催を促し支援している。

設立が早かったサロンは令和5年4月から7年目の活動に入る。

◇サロン設置数及び登録人数

地区	設置数	登録人数	年間開催回数	延べ参加人数	新設数	解散数
三庄平坦地区	14か所	146人	290回	42,340人	0	0
三庄山間地区	4か所	42人	72回	3,024人	0	0
加茂地区	8か所	143人	360回	51,488人	0	0

昼間地区	6か所	74人	180回	13,320人	0	0
足代地区	7か所	72人	240回	17,280人	0	0
東山地区	1か所	14人	12回	168人	0	0
合 計	40か所	491人	1,154回	127,620人	0	0

4. 地域支援事業（通いの場）【町受託事業】

要支援や要介護状態になるのを予防し、いつまでも元気な老後をめざすため、身近な通いの場（お住まいの地域）で5人以上のグループをつくり、介護予防への取り組みを自主的に行っていたため支援を行っている。

◇通いの場主な内容

- ①「いきいき百歳体操（徳島版）」等の体操を実施
- ②初回から4回は理学療法士、またはサロンコーディネーターが実技指導を行う
- ③職員が訪問し健康チェックと体力測定を行う（初回、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後、1.5年後、2年後、2.5年後、3年後～）
- ④定期的に理学療法士が実技指導を行う（初回、3ヶ月後、1年後、2年後、3年後～）

地区名	設置数・登録人数			体力測定等実施回数・専門職派遣数	
	設置数	登録人数	新設数	実施回数	理学療法士派遣数
三庄平坦地区	12か所	145名	0	16回	9回
三庄山間地区	2か所	20名	0	5回	3回
加茂地区	6か所	84名	0	10回	5回
昼間地区	4か所	55名	0	6回	3回
足代地区	6か所	64名	0	11回	6回
東山地区	2か所	25名	0	2回	0回
合 計	32か所	393名	0	50回	26回

5. こどもの居場所づくり推進事業

地域の大人との継続的な交流ができ、子どもたちにとって安全で安心な居場所であり、信頼関係のもとでの様々な活動を行う中で、すべての子どもたちが夢や希望をもって健やかに成長していける居場所づくりを展開する。

○こども★さろんの開催

◇夏休みこども★さろん

子どもや子育て世帯の居場所づくりと交流の場所づくりのため、昼間児童公園プールを活用し、夏休みに合わせて『こども★さろん』を2回開催した。地域の関係機関にご協力いただき、宿題支援や紙芝居、昔遊び体験などの活動やコロナウイルス感染症の感染対策に配慮したうえで昼食を実施した。プールを使った活動では、講師をお招きし、ライフジャケットの装着や水上スポーツのSUPなどさまざまな体験を通じて、楽しく安全に水遊びするための講習会を実施

した。多くの子どもたちに参加いただくことができ、地域のつながりを深めることができた。また、保護者の参加もあり、子育て軽減の一助や見守り、保護者同士の交流を図ることができた。

回数	開催日時	会場	内容	参加者
1回目	令和4年7月25日（月） 9:00～15:00	中央公民館2階和室 昼間老人憩いの家 児童公園プール	宿題支援 紙芝居、カルタ 昼食（カレー・ゆで卵） プール活動	36名 （こども32名） （おとな4名）
2回目	令和4年8月9日（火） 9:00～15:00	中央公民館2階和室 昼間老人憩いの家 児童公園プール	宿題支援 竹水鉄砲づくり ヨーヨーづくり 昼食（焼きそば・おにぎり） 水遊び講習会	39名 （こども33名） （おとな6名）

〈参加費〉 こども100円・おとな300円

〈関係機関〉 ふれあい・いきいきサロン連絡協議会、民生委員児童委員協議会、教職経験者
南平台・小川谷団地自治会、グランマ、ボランティア愛、老人クラブ昼間長生会
東みよし町役場福祉課、美波町由岐 B&G 海洋センター蒲生悠太氏

◇こども★さろん農業体験の開催

農業体験を通じて、食育について学ぶとともに、地域の大人と子どもが気軽に集まり交流できる場所づくりのため『こども★さろん農業体験』を開催した。昼間地域の篤農家による想いから生まれた企画である。体験は「田植え」「稲刈り」「もちつき」の3回開催した。

回数	開催日時	会場	内容	参加者
1回目	令和4年5月29日（日） 10:00～12:00	井上農機商会前の畑 （昼間）	田植え	11名 （こども6名） （おとな5名）
2回目	令和4年10月2日（日） 10:00～12:00	井上農機商会前の畑 （昼間）	稲刈り	12名 （こども7名） （おとな5名）
3回目	令和4年12月11日（日） 10:00～13:00	中央公民館	もちつき 実食 講座「ええ水を育む森林」	11名 （こども7名） （おとな4名）

〈参加費〉 無料

〈協力者〉 民生委員児童委員協議会、地元の篤農家、ボランティアグループ愛
阿波みよし農協、子ども食堂スカイ、徳島県西部総合県民局農林水産部
東みよし町産業課

◇三加茂地区こども★さろんの開催

子どもや子育て世帯の居場所づくりと交流の場所づくりのため、春休み期間に『こども★さろん』を開催した。関係機関と協議のうえ、令和4年度は三庄地域と加茂地域の2か所に分かれて開催した。初めての開催ということもあり、加茂地域では参加者が集まらず、今回は開催を中止したが、三庄地域では予定通り開催した。地域の関係機関にご協力いただき、手話体験と昔遊び体験の活動を実施した。また、イベント終了後にはボランティア団体による手作りのお弁当を配布した。

活動を通じて楽しく交流することができ、地域のつながりを深めることができた。

地域	開催日時	会場	内容	参加者
三庄	令和5年3月26日（日） 10:00～12:00	東みよし町 社会福祉協議会	手話体験 昔遊び体験 弁当お持ち帰り	21名 (こども14名) (おとな7名)

※加茂地域は参加者がなかったため中止した。

〈参加費〉こども100円・おとな500円

〈関係機関〉西庄さんわ推進会、老人クラブ三寿会、老人クラブ加茂大楠会、老人クラブ加茂福寿会、三加茂福祉委員会、手話サークルみかも、民生委員児童委員協議会

○こども食堂

こども食堂の立ち上げや運営に係る相談や運営補助金申請手続きに係る支援を行った。

◇子ども食堂支援

- ・立ち上げ相談 1件
- ・運営資金支援 1件

計2件

6. 生活支援体制整備事業【町受託事業】

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護サービスの提供のみならず、東みよし町が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に体制整備を進めている。

○地域支えあい推進協議体会議

◇第1層協議体（町域）支えあい推進員会議の開催

回数	開催日時	内容	出席数
1回目	令和4年7月13日（水） 13:30～15:00	一部役員改選 令和3年度活動報告について 令和4年度活動計画について	16名
2回目	令和5年1月26日（木） 13:30～14:30	今後の取組について その他	12名

◇第2層協議体（小地域）支えあい推進員会議の開催

第2層協議体（小地域）は7か所に分かれているが、地域力の低下などにより、集まることが難しい地域が出てきており、今後は地域を越えた支えあいの推進を図るため、三加茂地区と三好地区の2か所に分かれて会議を開催した。

〈三加茂地区〉

回数	開催日時	内容	出席数
1回目	令和4年9月20日（火） 13:30～15:00	運転免許返納による課題について ご近所とのつながりや関係性 その他	20名
2回目	令和5年2月22日（水） 13:30～15:00	前回会議の報告（事務局より） 地域資源を活かす方法について その他	17名

〈三好地区〉

回数	開催日時	内容	出席数
1回目	令和4年9月26日（火） 13:30～15:00	運転免許返納による課題について ご近所とのつながりや関係性 その他	13名
2回目	令和5年2月27日（月） 10:00～11:30	前回会議の報告（事務局より） 地域資源を活かす方法について その他	10名

◇フレイルサポーター活動

住民が主体となり、フレイル予防の啓発や推進に取り組むボランティア団体。

〈サポーター数〉11名

活動名	内容	回数	延べ参加数
通いの場訪問	フレイル説明、フレイルチェック	2回	18名
のびのび教室	参加者の体力測定支援	9回	46名
座談会	12/ 5今後の取り組み、研修会の案内	1回	7名
	2/13活動の打ち合わせ、研修会の案内	1回	8名
研修会	12/26県主催フレイル予防推進事業報告会	1回	2名
	2/15全国フレイルチェックの集い（ZOOM）	1回	6名
その他	老人クラブ主催フレイル推進員研修会	1回	9名

◇つながり通信の発行

見守り活動として、手紙を活用した「つながり通信」を発行。

【内容】季節行事、健康、体操、脳トレ、困りごとの相談先などを掲載

【対象】見守り配食サービス利用者（独居高齢者・高齢者世帯・障がい者など）
見守りが必要な方

【発行数】約 260 部

【発行日】毎月1回…配食サービス時、お弁当と一緒にお届けしている

7. 赤十字事業

○日本赤十字社活動支援費募集状況

日本赤十字社活動支援費は、町内各戸1世帯600円を目標に寄付いただいたもので、国際救助活動、医療活動、献血活動や赤十字救急法等の講習など多岐にわたり活用させていただいている。東みよし町内ではさんわ会などの講習会や災害時救護活動、災害時のお見舞い金や救急セットの配布などに活用されている。

また、赤十字特別社員では毎年2,000円以上の活動支援費を10年以上継続して支援いただいている活動支援員となる。

◇令和4年度 日本赤十字社活動支援費

【目標額】 2,245,000円

・活動支援費	3,511件	2,017,240円	
・特別社員	56件	138,000円	(うち新規23名)
計	3,567件	2,155,240円	(目標額比較△89,760円)

○赤十字要支援者用段ボールベッドの配備

災害時における要支援者の支援体制の強化を図ることを目的に、赤十字要支援者用段ボールベッドの配置が行われた。

◇要配慮者支援用 5基 ◇乳児支援用 5基

【保管場所】 昼間小学校 防災備蓄倉庫

○小規模災害に対する赤十字見舞金品の交付

日本赤十字社徳島県支部では、災害救助法の適用を受けない小規模の火災・風水害等により被害を受けた方に対し、援護物資や見舞金をお届けしており以下の交付を行った。

全焼・・・1件 見舞金 20,000円 [別に共同募金緊急災害見舞金20,000円]

見舞品 [緊急セット1個、毛布1枚]

8. 共同募金事業 ～東みよし町共同募金委員会～

○東みよし町共同募金委員会

実施状況：運営委員会 ①令和4年 6月13日 ②令和4年 9月8日 ③令和5年 3月23日

助成審査会 令和5年 3月23日

○令和4年度 共同募金結果

10月1日～12月31日を期間とし、住民の皆様方の深いご理解のもと本年度目標額【赤い羽根共同募金：2,017,900円 歳末たすけあい募金：250,000円】を上回る多くの募金をいただいた。

【赤い羽根共同募金 2,115,902円】(目標額比較 +98,002円)

(内訳) 自治会 1,842,600円

職域募金 228,000円

街頭募金 42,155円 10/1街頭募金

その他募金 3,147円 イベント募金

【歳末たすけあい募金 250,407円】（目標額比較 +407円）
 （内訳） 自治会 200,000円
 街頭募金 50,407円 12/3街頭募金

○「東みよし町を良くするしくみづくり」助成事業の募集及び助成

住民の皆様にご協力頂いた共同募金を原資とし、東みよし町で活動するボランティア団体や福祉団体等に対して助成することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる町づくりを推進することを目的に助成事業を行った。

◇本年度の助成内訳

(1) 社会福祉協議会が行う地域福祉活動費			
14事業	1,330,000円	〔前年度比	124,900円増〕
(2) 自治会等の地域団体が行う小地域での福祉推進のための活動費			
3事業	90,000円	〔前年度比	1事業減 30,000円減〕
(3) 地域福祉を目的とした福祉団体やボランティア団体などの活動費			
8事業	270,000円	〔前年度比	1事業増 30,000円増〕
<hr/>			
計 25事業	1,690,000円	〔前年度比	124,900円増〕

9. ボランティアセンター事業

ボランティアセンターでは相談事業や、防災・災害ボランティアセンターの推進、福祉の保険加入事業等を実施した。

○ボランティアセンター

【相談事業】

- ・相談件数 19件
- ・相談内容
 - ☆助成金の申請について
 - ☆ボランティア保険について
 - ☆会員の確保について

【福祉の保険加入状況】

- ◇ボランティア活動保険 368名加入
- ◇ふれあいサロン・社協行事保険 17,325名加入

○夏休みボランティアスクール

夏休み期間中に町内の中学生、高校生を対象にボランティア講座を開催した。ボランティアに関する講座に加え、東みよし町手をつなぐ育成会主催の行事に参加し、障がい者の方の支援方法について学べるよう計画した。しかし、コロナウイルス感染症の影響により、課外活動への参加ができなくなったため、計画を変更し講座のみの開催とした。

開催日 令和 4年7月24日（日）8:30～10:30
 会場 東みよし町社会福祉協議会 集会室
 内容 講座「ボランティアについて」「子育て支援ボランティアについて」
 参加者 7名

10. 防災啓発事業

防災啓発に関する事業及び、組織内における災害対応力の向上のための事業を実施した。

○夜間の防災体験

昨年度同様、屋外にて防災ウォーキングイベントとして『ナイトウォーキング・プラス』をぶぶるパークにて開催。昨年度はウォーキングが中心であったが、今年度は前半に「新聞紙で防災グッズ製作体験」「無線機の使用体験」「ロープワーク」を実施。東みよし町防災士会にもご協力をいただいた。また、ウォーキング中にも隠されたコーンを探したり、簡単なクイズも準備をした。ゴール後にはかき氷を食べていただいた。

目的：防災に興味を持つきっかけづくりと、いざという時の「体力」「観察力」「発想力」を養っていただく。

開催日：令和4年7月29日（金）18:00～19:00

会場：ぶぶるパークみかも

参加人数：47名

○東みよし防災フェスティバル2023

防災・減災に対する意識の向上と、地域での自助・互助・共助での支え愛による絆やつながりをさらに深め、日頃からの助け合いの強化のために開催した。また、災害ボランティアセンターや自主防災組織、関係機関等の平常時からの防災の取組みを知ることにより、他機関連携を深めるために開催した。コロナの影響で4年振りの開催となったが会場・時間を変更し、短時間であったものの多くの皆さんにご来場いただき、様々な体験・展示・販売・相談のコーナーを通じて防災・減災の意識を深めることができる催しとなった。

開催日：令和5年3月12日（日）10:00～12:00

会場：東みよし町社会福祉協議会

参加人数：参加者370名（うち関係機関120名）

11. シルバー人材センター

シルバー人材センターでは60歳以上の健康で働く意欲のある方を会員として登録いただき、屋外での除草作業や剪定作業、公園の清掃等のほか、各種屋内作業や表装作業など、高齢者の知識と経験を活かした就労を通じた『いきがづくり』や『仲間づくり』に寄与している。

なお、本年度は派遣事業の適正就労の為、町外事業所への会員の派遣は見直しを実施した。

(1)月別事業実績

	会員数			受注件数			契約金額			延人員	実人員	就業率
	男	女	計	公共	民間	合計	公共	民間	合計			
4月	53	39	92	17	49	66	451,684	594,099	1,045,783	339	47	51.1
5月	53	39	92	25	68	93	689,095	787,376	1,476,471	428	54	58.7
6月	53	39	92	27	53	80	1,247,355	639,604	1,886,959	466	56	60.9
7月	53	42	95	23	84	107	722,340	928,863	1,651,203	489	50	52.6
8月	53	42	95	28	90	118	3,655,988	957,294	4,613,282	652	57	60.0
9月	53	42	95	24	84	108	639,080	994,595	1,633,675	458	51	53.7
上期合計				144	428	572	7,405,542	4,901,831	12,307,373	2833	68	71.6

10月	53	42	95	22	74	96	818,514	1,039,455	1,857,969	510	50	52.6
11月	53	42	95	24	76	100	678,820	1,430,310	2,109,130	473	51	53.7
12月	53	42	95	15	49	64	315,020	597,757	912,777	284	41	43.2
1月	53	42	95	18	18	36	452,697	496,741	949,438	271	43	42.1
2月	53	42	95	17	15	32	671,978	683,708	1,355,686	302	46	45.3
3月	53	42	95	18	53	71	615,009	862,556	1,477,565	390	46	48.4
下期合計				114	285	399	3,552,038	5,110,527	8,662,565	2,230	61	64.2
前年比				-6	+23	+17	+63,893	+417,728	+481,621	+160	-	-
合計				258	713	971	10,957,580	10,012,358	20,969,938	5,062	70	73.7

(2)職群別就業状況

職群	職種	受注件数	実人員	延人員	契約金額	比率	備考
事務的業務	外勤事務	11	17	114	62,700	0.3	事務
農林漁業	農業及び林業の就業	171	33	452	2,854,238	13.6	農作業、庭木の剪定
生産	製品製造、加工	18	2	39	482,272	2.3	表装作業
建設・採掘	土木の職業	13	18	212	1,649,659	7.9	芝生砂入れ等
運搬・清掃	清掃、除草	758	69	4245	15,921,069	75.9	清掃、除草作業等
合計		971	70	5062	20,969,938	100	

(3)シルバー派遣事業実績

職群	契約件数	実人員	延人員	契約金額	備考
サービスの職業	2	11	396	1,619,775	介護、調理補助、施設清掃等
輸送・機械運転の職業	1	1	119	795,648	運転業務
運搬・清掃・包装等の職業	4	40	402	1,014,230	工場内清掃、製材板乾燥、除草等
合計	7	51	917	3,429,653	

(4)短時間日常生活支援事業

職種	契約件数	実人員	延人員	契約金額
ゴミ出し	3	3	143	14,700
日用品等の買い物等	1	1	1	500
合計	4	4	144	15,200

12. シルバー大学校・大学院【県受託事業】

高齢者自身が生きがいをもって豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を援助し、将来は地域福祉を推進するリーダーの養成を目的に実施。また、シルバー大学院では専門性の高いレベルでの学習の機会を提供している。

今年度はコロナの影響を受けることなく、すべての内容が予定通りに実施できた。大学祭では一致団結し、あわぎんホールにて堂々と芸能発表を行い、また閉講式後には学生同士でお別れ会を行い交流を深めることができた。受講者の学びによる生きがいの促進とともに、相互のつながりの構築による、より一層地域福祉の推進に貢献できる人材育成がなされたと思われる。

	シルバー大学校	
	健康コース	ICTコース
入学者数	19	7
辞退者数	0	2

シルバー大学校 大学院 ICT
8
1

13. 各種福祉団体の状況

① 東みよし町老人クラブ連合会 9クラブ会員数563名

今年度は積極的に事業が展開され、6月の総会を皮切りに、「交通安全教室」「県老連グラウンドゴルフ大会」「体育大会」「ウォーキング大会」などに大勢の会員に参加いただいた。また、これまでにはなかった「移動式スマホ教室」や、若手部による「高知県老連とのWeb情報交換会」などにも積極的に参加いただいた。女性部では舞踊で着用できるように法被の製作を行った。

② 東みよし町遺族連合会 加茂・三庄・三好町の3つの遺族会により構成

役員総会を開催し、意見交換、親睦を図るとともに、各地区遺族会ごとに上部団体主催の会議等に参加した。町慰霊祭は5月31日に規模を縮小して開催。

③ 東みよし町身体障害者会 会員数108名

総会を開催、また役員会を開催し意見交換を図る。社会参加促進事業として、三好市と合同でボッチャ大会、フライングディスク大会、グランドゴルフ大会を開催。三好市合同障害者スポーツ大会は中止となった。

④ 東みよし町手をつなぐ育成会 会員数10世帯12名

奉仕作業の実施に併せて総会を開催し意見交換、親睦を図った。コロナ禍での開催についてはそれぞれの事業で安全開催計画書を作成し感染症対策をした上で活動を実施した。7月10日には、コミュニケーション教室に4名の会員の方が参加され、三好市手をつなぐ育成会会員や博愛ビレッジGHの入居者との交流を通じて親睦を深めた。また、7月24日には四国三郎の郷にて東みよし町手をつなぐ育成会主催で、ふれあいキャンプを開催し会員・ご家族と、博愛ビレッジGH入居者を含め総勢24名での活動を行い社会参加や交流の場となった。

⑤ 東みよし町ゲートボール協会 6チーム会員数34名

高齢者の健康づくり、生きがいづくりとして活動。本年度は町GB協会主催による親睦大会、秋季大会を実施するとともに、みよし広域GB協会での親善試合に参加するなど積極的に活動した。三好・三加茂各地区でも定期的に練習を行い、会員相互の交流とスポーツを通じた体力の向上、いきがいづくりの向上に寄与した。

⑥ 東みよし町ボランティア連絡協議会 11団体279名、個人12名

町内のボランティアグループの連携・調整を図り、研修会などを開催している。本年度は、7月4日に総会を開催し、38名の会員に出席いただいた。総会後は各ボランティアグループから活動紹介を行っていただき、それぞれのボランティア団体が取り組んでいる活動について理解を深めた。さらに、11月21日にはヤングケアラー研修会（参加者26名）、3月27日には赤い羽根共同募金配分金を活用させていただき、高齢者のための調理講習会（参加者7名）を開催した。

⑦ 東みよし町ふれあい・いきいきサロン連絡協議会 サロン40か所、会員493名

町内のふれあい・いきいきサロンが相互の連携・協働により、サロンの継続支援のための活動を展開することを目的としている。今年度は総会も開催され、総会後にはレクリエーション用具の体験会を実施。また、サロン代表者が集まり「顔合わせ会」も開催され、連絡協議会の本質であるサロン同士の横のつながりも深めることができた。

⑧ 三加茂福祉委員会 会員数123名

三加茂地区を活動拠点とし、見守りサービス事業での定期訪問や見守り配食サービスにおける調理、配送などの活動を行っている。三加茂地区敬老会での招待者へメガネスタンドを贈呈するため作成した。

⑨ ボランティアグループ愛 会員数43名

三好地区を活動拠点とし、見守りサービス事業での定期訪問や見守り配食サービスにおける配送などの活動を行っている。

生活支援事業

1. 生活困窮者自立支援事業【県社協受託事業】

本事業では、経済的な問題のみならず、精神的、家庭的、健康的な問題等複合的な問題を抱えながら地域生活を送られている方を対象に、自立と尊厳の確保を目指し、包括的・個別的・早期的・継続的な支援の実践を行なった。

相談支援員（兼）就労相談支援員 1名（とくしま・くらしサポートセンター 東みよし担当）
担当職員 1名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談受付件数（総数）		3	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	8
プラン作成件数（総数）		2	2	6	2	0	4	2	6	0	3	0	5	32
就労支援対象者数		0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計相談支援事業	0	2	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	7
	就労準備支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	生活福祉資金等による貸付	1	0	5	0	0	4	1	5	0	0	0	5	21
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○自立相談支援機関における、休日等の相談体制の整備について

休日・夜間等においても相談対応できるような体制を整えており、本会へかかってきた電話を転送設定し、1週間ごとの当番制により相談対応している。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	22	15	12	19	39	19	15	14	23	17	7	17	219

○フードバンク・フードドライブ事業

主に企業や関係団体などから提供いただいた、食品や生活用品などを必要な方へお届けするフードバンクと、主に個人の方より提供いただき活用するフードドライブを実施。今年度は夏季にフードパントリーを実施し、50名に食品を提供した。越年支援では共同募金配分金の助成を受け、ひとり親世帯（43世帯）へクリスマスケーキのプレゼントを行った。

最近では、冷蔵庫や洗濯機、自転車のニーズが多く、在庫状況により、提供することが出来ない場合があり、フードバンクにし阿波で西部圏域の社協に協力を依頼して対応した。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
寄付	18	46	60	83	119	93
個人	18	45	51	59	99	70
団体	0	1	9	24	20	23
配布	25	91	245	248	237	229
個人	25	91	242	228	212	219
団体	0	0	3	20	25	10

2. 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し、資金貸付と相談・支援を行うことにより世帯の経済的自立や在宅福祉・社会参加の促進を図ることを目的とした制度となる。

○緊急小口資金等新型コロナウイルス特例貸付

令和2年3月25日より開始した、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した世帯を対象とした、緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金（生活支援費）特例貸付の受付期間は令和4年9月30日で終了となった。

また、住民税非課税世帯等に対する償還免除の手続きを開始した。

◇貸付状況（令和5年3月31日現在）

資金種類	貸付件数	貸付金額	滞納件数	滞納金額
総合支援資金	2件	1,200,000円	1件	68,800円
更生資金	1件	1,344,000円	1件	668,000円
福祉資金	7件	8,648,551円	6件	2,524,239円
教育支援資金・修学資金	27件	27,493,000円	17件	2,868,360円
緊急小口資金	4件	401,875円	4件	284,885円
コロナ特例	74件	19,710,000円	31件	344,060円
総合支援資金	28件	11,310,000円	13件	90,000円
緊急小口資金	46件	8,400,000円	18件	254,060円
合 計	115件	58,797,426円	60件	6,758,344円

◇本年度申請・貸付状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付金額
福祉資金	0件	0件	0円
教育支援資金	0件	0件	0円
緊急小口資金	1件	1件	44,000円
総合支援資金（コロナ特例）	2件	1件	600,000円
緊急小口資金（コロナ特例）	14件	14件	2,700,000円
合 計	17件	16件	3,344,000円

◇償還完了状況

資金種類	完了件数	償還金額合計	説明
福祉資金	1件	272,000円	
緊急小口資金	2件	74,000円	
教育支援資金	2件	946,000円	
緊急小口資金（コロナ特例）	1件	200,000円	
合 計	6件	1,492,000円	

◇償還免除・時効援用等

資金種類	完了件数	償還金額合計	説明
福祉資金	1件	313,875円	県社協会長職権免除
総合支援資金（コロナ特例）	13件	5,650,000円	償還免除
緊急小口資金（コロナ特例）	26件	5,100,000円	償還免除
合 計	40件	11,063,875円	

3. 福祉つなぎ資金貸付事業

一時的に生活に困窮している低所得世帯（町内に在住する低所得世帯で臨時の出費又は、収入の欠如等により生活を維持するのが困難な世帯で、生活福祉資金貸付制度で貸付決定された者及び会長が特に必要と認めた者）に対し、生活の安定を図るために資金を貸し付けている。

◇本年度貸付状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付合計	滞納件数	滞納金額
福祉つなぎ資金	1件	1件	40,000円	0件	0円

4. 日常生活自立支援事業【県社協受託事業】

福祉サービスの利用援助を行うと共に日常的な金銭管理を行い、地域での生活の為の支援を行っている。

◇相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

内 容 事項	対象者	本事業の利用に関するもの				その他	合計
		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他		
a. 問い合わせ件数 (制度・事業について)		3	0	4	7	11	25
b. 初回相談件数 (初回相談受付)		0	0	3	2	0	5
c. 相談援助件数 (ab 以外)		103	619	905	113	24	1,764
合 計		106	619	912	122	35	1,794

◇契約締結件数（令和4年度末の契約締結件数）

事項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
契約者数		0	0	2	2	1	4
契約時 自宅外 (再掲)	施設	0	0	0	0	0	0
	病院	0	0	0	0	0	0
	グループホーム	0	0	1	0	0	1

◇終了件数（令和4年度末まで）

事項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
終了件数		0	0	0	0	0

◇現在の実利用人数（令和4年度末時点）

事項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
実利用人数		2	8	13	4	27

◇契約準備件数（令和4年度末時点）

事項	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
契約準備件数		0	0	0	0	0

5. 権利擁護センター・成年後見事業

判断能力が十分でない方が住み慣れた地域で安心して生活できるように必要な支援を行い、迅速に適切な支援に繋げるために、権利擁護支援のネットワークのコーディネートを担う機関である中核機関の設置に向けた協議を町福祉課と行い、権利擁護センター設置の準備を進めた。

また、専門相談窓口の機能向上のため、様々な研修会への参加により成年後見制度の理解を深め専門相談員としての資質向上に努めた。

6. 居住支援事業【国庫補助事業】

低所得者、高齢者、障がい者、子育て世帯などで住宅を確保することが困難な方（住宅確保要配慮者）が民間賃貸住宅等へ円滑に入居できるよう推進するとともに、入居後に必要な福祉サービスを始めとした各種サービスが利用できるよう支援を行った。

○東みよし町居住支援協議会の設置

不動産、福祉・医療、法律、行政、研究者などの専門家で構成する協議会を設置し、住宅確保要配慮者への相談、入居支援及び入居後サポートを実施。

◇会議の開催状況

第1回居住支援協議会 令和4年 6月27日(月)13:30～15:00

第2回居住支援協議会 令和5年 2月24日(金)10:00～11:30

◇相談受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数（総数）	12	1	3	1	1	1	1	0	1	2	1	0	24
終了	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
継続	12	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	20
経過	空き家登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	引越	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	不動産会社等への取次ぎ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活支援	11	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	18
	入院・入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
制度の利用等	生活保護受給申請	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	生活困窮者自立支援事業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	生活福祉資金貸付事業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	日常生活自立支援事業	1	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	6
	成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	配食サービス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	福祉電話設置事業	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	障がい福祉サービス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	18	1	2	2	1	2	1	0	1	3	2	0

7. 総合相談事業【町受託事業】

三加茂地区は毎月第1・3金曜日午後、三好地区は毎月第2・4木曜日午前に悩みごと・困りごと等、秘密厳守・無料で相談窓口を開設した。心配ごと相談・人権相談・行政相談・身体障害者相談の窓口を設け、親身に相談に乗ると共に、適正な関係機関への連絡・調整等も行い、悩みごとの改善に努めている。近年はご近所とのトラブルに関する相談や相続に関する相談が多く、専門機関との連携により対応を行っている。

【開設状況】	三加茂	三好	合計
開設回数	23回	22回	45回

【相談状況】		来所	自宅等	来所	自宅等	来所	自宅等
相談 件数	心配ごと相談	3件	152件	1件	3件	4件	155件
	行政相談	0件	3件	0件	1件	0件	4件
	人権相談	0件	0件	0件	2件	0件	2件
	身体障害者相談	0件	0件	0件	1件	0件	1件
	居住支援相談	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	合計件数	3件	155件	1件	7件	4件	162件

- 大藤・奥村地区出張相談を令和4年10月24日(月)に大藤公民館にて実施。
相談員、行政担当課の情報交換などにより地域の実情を知る機会となっている。

8. 見守りサービス事業

- つながり通信による定期訪問

毎月1回配食サービス実施日に合わせて、配食を希望しない高齢者等のご家庭に、つながり通信をボランティアが持参して声かけを実施。本年度は三好警察署-生活安全課にも同行いただき、特殊詐欺防止の呼びかけも実施した。

- 見守り配食サービス

75歳以上の独居世帯、80歳以上の高齢者世帯や障害者世帯などの要配慮者の見守り活動の一環として、お弁当を1食300円でお届けする。調理ボランティアによる手作り弁当や町内料理店などに調理いただいた弁当を、ボランティアの皆さんに配送いただき毎月2回ずつお届けしている。

◇配食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食総数	390	378	382	470	379	377	369	355	376	314	346	332	4,468
三加茂地区	238	233	238	288	234	227	228	219	230	206	213	208	2,762
三好地区	152	145	144	182	145	150	141	136	146	108	133	124	1,706

- ※三加茂地区は毎月第1・第3木曜日に、三好地区は毎月第2・第4金曜日に配食サービスを実施。
三加茂地区においては月1回、ボランティアさんの手作りによる弁当を配布。
7月と12月第1週は見守り活動の一環としてつながり通信の配布による声かけを実施しているご家庭にもお弁当やもち・みそをお届けした。

◇利用登録者数（R5年3月末時点）

		配食登録者	つながり通信のみ
三加茂	198	159 (25)	39
三好	127	94 (12)	33
合計	325	253 (37)	72

※（）内の数値は集計日時点で一時休止の人数

◇ボランティア（調理・配送）登録者数

	三加茂	三好	合計
ボランティア登録者数	123	51	174

9. 高齢者移送サービス事業【町受託事業】

山間地域にお住まいで交通手段がない方や不便な世帯の65歳以上の高齢者や障害者の方が、在宅で自立した生活を送るために、乗合バスにより、片道200円で町内の「医療機関」及び「公共機関」へ毎週1回送迎を行っている。

運行にあたっては町内タクシー業者に運転業務を委託し、安全に配慮した運行を心掛けている。

◇運行状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
運行日数（日）	345	332	316	426	248
利用者数（人）	1,637	1,692	1,305	1,799	866
登録者数（人）	178	171	150	153	135

◇登録者数（長期不在者除く）

班	運行日	該当地区	登録者数(人)	
三加茂地区	1班	水曜日	大藤・奥村	29(-4)
	2班	火曜日	引地・白内・桑内・加茂山上・加茂山下	14(-5)
	3班	木曜日	泉野・五名上・五名下・平・新発地・森清	30(-1)
	4班	金曜日	毛田・毛田西山・木藤・黒長谷	9(0)
	計			82(-10)
三好地区	1班	月曜日	石木・棟木・増川・柳沢	9(+2)
	2班	火曜日	葛籠・男山	16(-1)
	3班	水曜日	滝久保・岸上・岸下・内野	21(-4)
	4班	金曜日	足代中屋・笠母・聖神・ハタ・法市	7(-5)
	計			53(-8)
合計			135(-18)	

※登録者数のカッコ内は前年度比

13. 地域生活支援事業【市町・広域連合等受託事業】

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう各種事業を実施している。

○生活訓練等事業(知的コミュニケーション)

- ・事業内容 他の参加者との交流や社会体験を通じ、生活範囲の拡大と生活の質の向上を図り、社会参加の促進を図ることを目的に映画鑑賞会を開催する。
- ・実施状況 令和4年7月10日開催に開催。30名の方にご参加いただき、徳島イオンショッピングセンターにて買い物、映画鑑賞を行った。

○自発的活動支援事業

- ・事業内容 障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者等その家族、地域住民等による地域における自発的な取り組みを支援することにより、共生社会の実現を図る。
- ・実施状況 【手話サークルみかも】
東みよし防災フェスティバルに参加、日常生活で使える手話を紹介した。
聴覚障害者と健聴者のコミュニケーションをはかり、親睦を深めることができた。
【手をつなぐ育成会】
奉仕作業を通じた障害者のボランティア活動を支援した。

○手話通訳者派遣事業

- ・事業内容 聴覚障害者を対象とし、日常生活や各種催しなどの際に、必要に応じて手話通訳者を派遣する。
- ・実施主体 徳島県聴覚障害者福祉協会
- ・実施状況 利用回数26回

○要約筆記者派遣事業

- ・事業内容 日常生活や講演等各種催しにおいて、聴覚障害者のために要約筆記者を派遣する。
- ・実施主体 JCI Teleworkers' Network
- ・実施状況 利用回数0回

○声の広報発行事業

- ・事業内容 毎月1回朗読ボランティアの協力により、町発行の広報誌をCDに録音し声の広報として視覚障害者に配布している。なお、社協広報誌についても同様に発行している。
- ・実施主体 朗読ボランティア：パラピリプルペレポロ9名
- ・実施状況 回数：12回（町広報誌） 4回（議会だより） 2回（社協広報誌）
配布世帯数：4世帯

○スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

- ・事業内容 スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障害者等の体力増進、交流、余暇等に資するため、及び障害者スポーツを普及するため、各種スポーツ・レクリエーション教室や障害者スポーツ大会を開催している。(三好市と交代で実施)

・実施状況

【ボッチャ大会】

令和4年6月14日 東みよし町農業者トレーニングセンター

参加人数：38名（参加者29名 職員8名 通訳者1名）

【フライングディスク大会】

令和4年9月22日 美馬市 西部防災館屋内運動施設

参加人数：27名（参加者17名 職員9名 通訳者1名）

【グランドゴルフ大会】

令和4年10月18日 ぶぶるパーク

参加人数：22名（参加者14名 職員7名 通訳者1名）

在 宅 福 祉 課

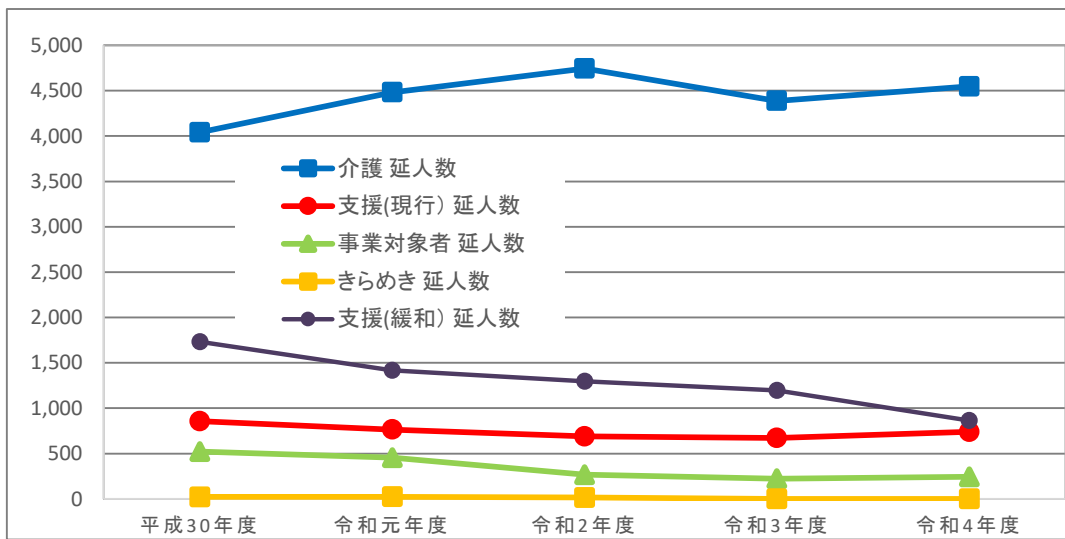
介護保険事業

通所介護

介護保険対象者の方や、総合事業の通所型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方や65歳以上の方で介護認定を受けていない介護予防対象者の方が利用されています。令和4年8月、おおぐす荘では、職員2名、利用者4名の新型コロナウイルス陽性者が発生したことにより1日間の休業を行っています。

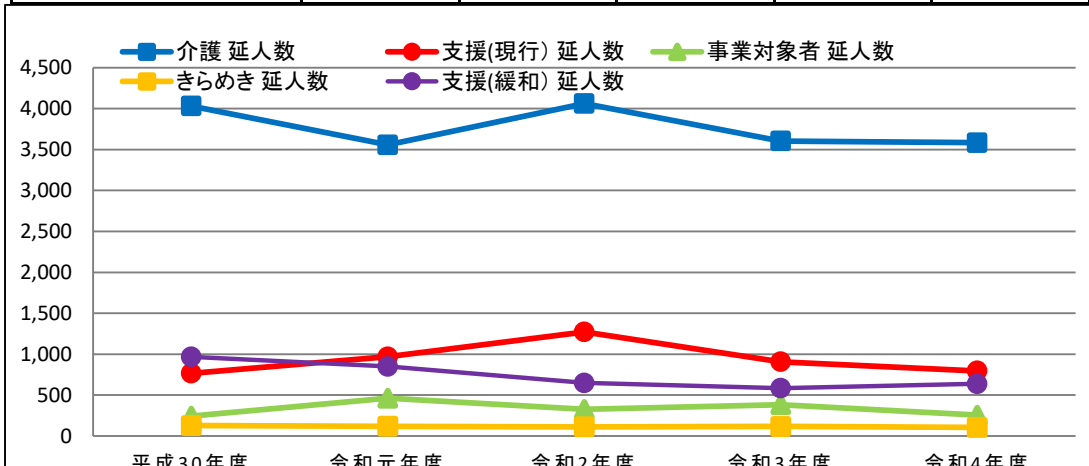
○デイサービスセンターおおぐす荘（令和4年度年間開所日合計242日、1日平均利用者数26人）
定員 一体型（介護・現行・緩和・生活介護・きらめき） 35名（年間平均利用75%）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護	実人数	48	65	74	62	47
	延人数	4,041	4,481	4,744	4,388	4,546
支援(現行)	実人数	24	15	13	9	9
	延人数	857	764	689	672	739
支援(緩和)	実人数	33	45	31	29	17
	延人数	1,732	1,418	1,298	1,196	864
事業対象者	実人数	15	7	7	8	5
	延人数	522	454	267	223	243
きらめき	実人数	2	1	1	0	0
	延人数	22	23	16	0	0



○デイサービスセンターさざんか荘（令和4年度年間開所日合計243日、1日平均利用者数22人）
定員 一体型（介護・現行・緩和・生活介護・きらめき） 31名（年間平均利用69%）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護	実人数	43	51	59	55	38
	延人数	4,032	3,558	4,062	3,605	3,584
支援(現行)	実人数	12	17	22	18	12
	延人数	765	968	1,271	907	795
支援(緩和)	実人数	19	23	11	13	10
	延人数	967	849	649	584	637
事業対象者	実人数	9	9	7	6	3
	延人数	243	462	325	382	254
きらめき	実人数	8	8	6	6	5
	延人数	128	119	112	118	105

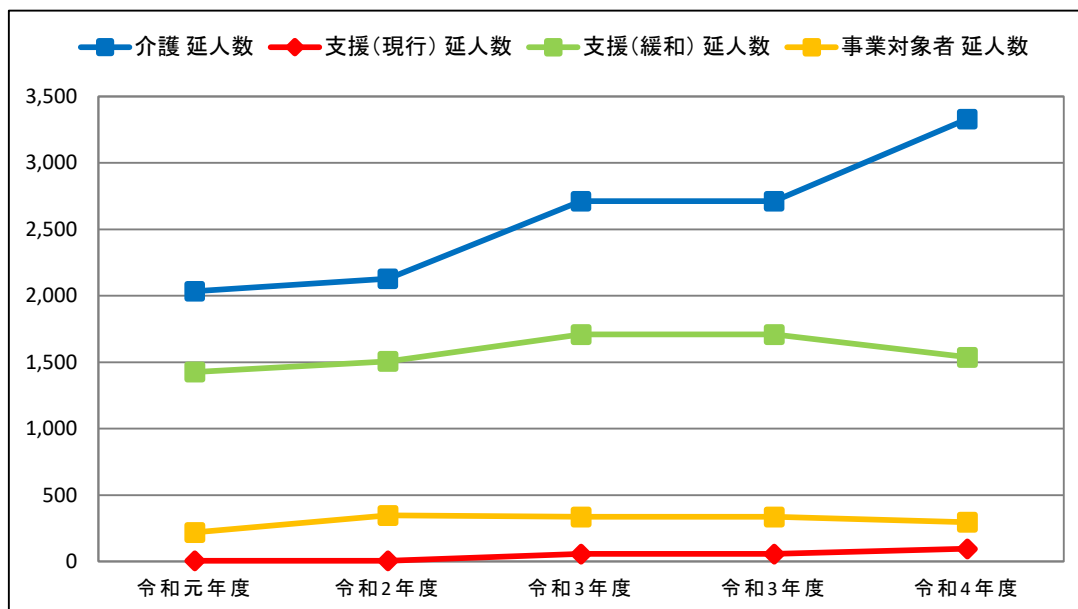


○ホームヘルプセンター

介護保険対象者、総合事業の訪問型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方々に身体介護、生活援助の提供を行っています。

（令和4年度年間開所日合計243日、1日平均訪問数21人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度
介護 実人数	29	38	42	42	31
	2,034	2,128	2,712	2,712	3,330
支援（現行）実人数	2	1	4	4	2
	5	5	57	57	96
支援（緩和）実人数	34	35	35	35	28
	1,426	1,507	1,709	1,709	1,537
事業対象者 実人数	5	7	7	7	5
	219	347	336	336	296

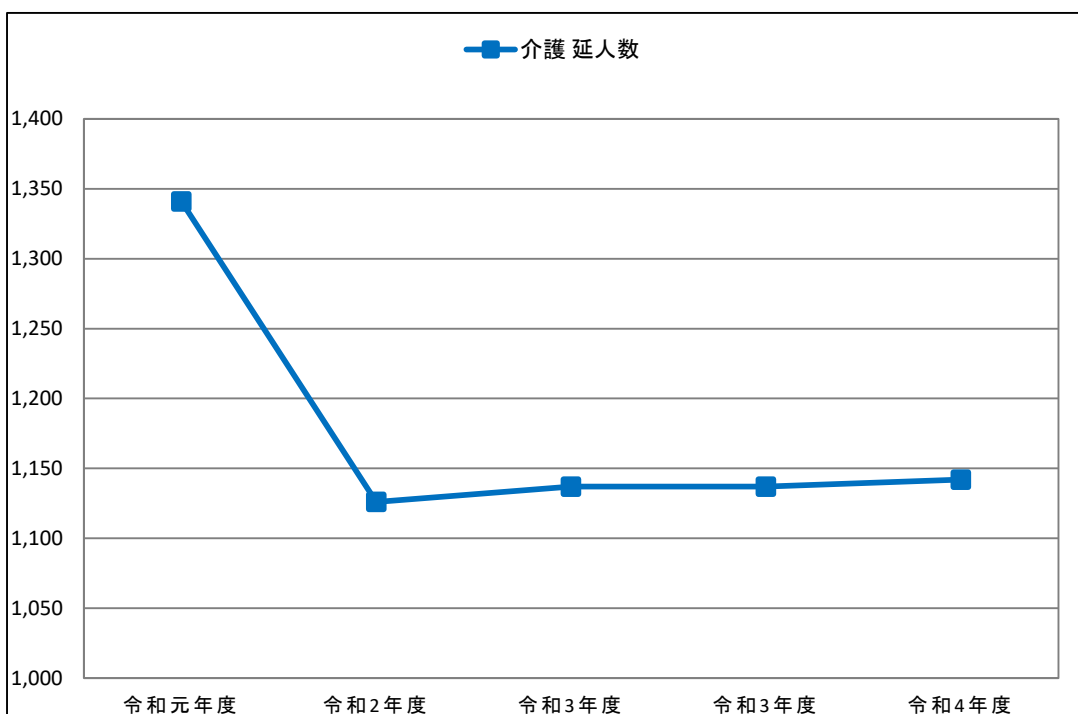


○居宅介護支援事業所

介護保険に関する相談、介護保険の申請代行、介護支援サービス計画の作成、居宅において日常生活を営むための調整を行います。

（令和4年度介護支援専門員3名（9月から4名） 年間平均担当 80%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度
介護 延人数	1,341	1,126	1,137	1,137	1,142



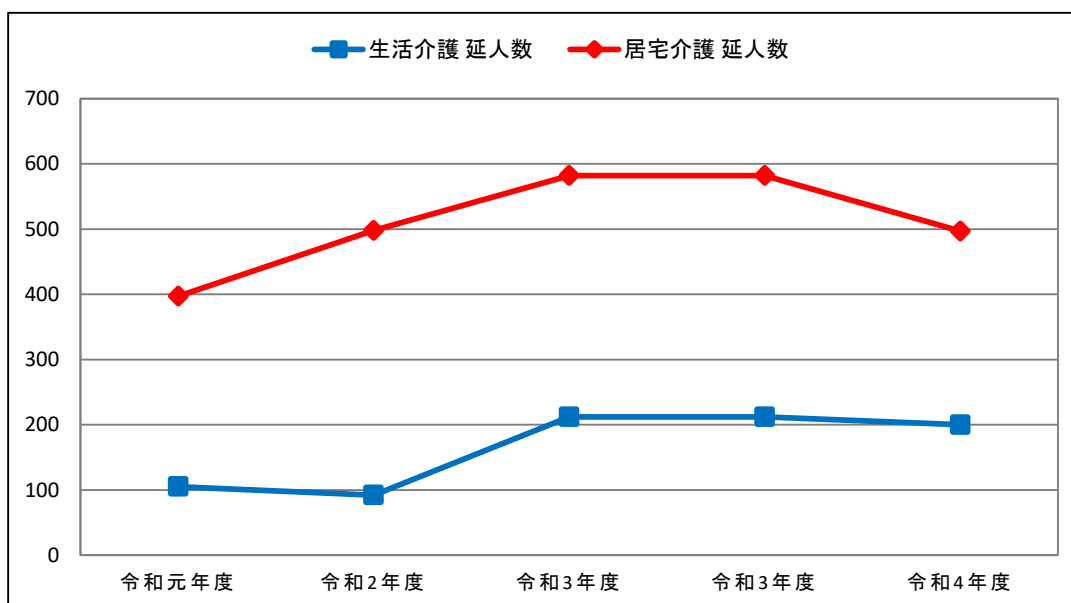
○障害福祉サービス

居宅介護…障害者総合支援法で訪問介護の利用が認められた障害者世帯等に訪問して日常生活上の援助を行っています。

生活介護…社会参加、自立の促進、生活改善、身体機能の維持向上を日中時間帯に提供させていただきます。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度
生活介護 実人数	1	1	2	2	2
延人数	105	92	212	212	200
居宅介護 実人数	9	9	11	11	8
延人数	397	498	582	582	497

※生活介護：デイサービスセンターさざんか荘 居宅介護：ホームヘルプセンター



○在宅介護者の会

自宅において高齢者の介護をされているご家族に、介護に関する情報交換や体操を行い、リフレッシュを目的とした時間を過ごしていただく会の開催を目指す。

令和5年3月13日（月）13:30～15:30 参加者3名

今まで、聞けなかった事や体験談などを聞くことができ、自宅でできる体操を教えてもらったと、大変好評だった。

東みよし町地域包括支援センター

令和4年度 地域包括支援センター事業報告

事業経過報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、事業再開、新規事業開催に移行していきました。前年度から引き続き、地域包括支援センターの基本として東みよし町に即した町づくり地域包括ケアの実現に向けて「介護予防」「総合相談」「権利擁護」「個別地域ケア会議からの地域課題の抽出」「介護支援専門員の資質向上」「認知症への取り組み」に重点を置き、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう関係機関との連携強化を図り、地域づくりに取り組みました。中でも地域のサロンに出向き、体組成計を活用し、フレイル予防についての普及啓発と、認知症への取り組みとして認知症検索・声かけ模擬訓練の実施と研修会を重ねて認知症への理解や支援方法について知識を深め、地域全体で支えていくことができるようネットワークの支援体制の強化に取り組みました。

I. 介護予防ケアマネジメント業務

包括支援センターが実施する介護予防教室等の周知や、教室での介護予防の情報提供及び地域の実態把握を行うことで、介護予防普及啓発と健康増進活動の支援を行いました。

1. サービスC対象者の訪問・相談 (のびのび教室)

訪問・相談数

区 分	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	合計	内実人員
訪問	43	18	5	66	66
来所	0	0	0	0	0
電話等	0	0	0	0	0
計	43	18	5	66	66

2. サービスC対象者に係る介護予防ケアプラン

作成数

区 分	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	合計	内実人員
通所型 (委託分)	0	0	0	0	0
(教室分)	43	18	5	66	66
訪問型 (専門相談)	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	43	18	5	66	66

評価数

区 分	件数
プラン継続	0
プラン変更	0
(内訳)	
介護給付に変更	0
予防給付に変更	0
終了	66
合 計	66

3. 一般高齢者の介護予防事業実施

	実施回数	参加者数	実施者数
講演会 (介護予防教室) 等での介護予防についての教育	60	725	115
相談会での介護予防相談支援	1	5	1
その他 (のびのび教室・フォローアップ等)	26	590	91

実施担当者

保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	その他
85 回	42 回	7 回	36 回

II. 総合相談支援業務、権利擁護業務

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、高齢者やその家族、近隣の住民等からの様々な相談に対応し、相談内容に即した情報提供、関係機関の紹介等を行いました。

1. 相談件数

区 分	件数	内実人員	夜間等対応		
			平日（昼間）	17:30~8:30	休日（昼間）
①介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	399	293	395	1	3
②権利擁護（成年後見制度等）に関すること	6	9	6	0	0
③高齢者虐待に関すること	5	5	5	0	0
④その他	105	92	95	2	8
合 計	515	399	501	3	11

2. 相談内訳 ※①②③④は1の相談内容区分による。（関係機関は行政・医療・保健・福祉関係）

担当者別 相談内容	相談方法			相談者				合計	
	訪問	来所	電話等	本人	家族	地域	関係機関		
保健師 等	①	28	25	124	32	95	9	41	177
	②	0	0	1	0	0	0	1	1
	③	0	0	3	1	1	0	1	3
	④	5	4	59	10	14	12	32	68
社会福 祉士	①	31	15	72	20	69	3	26	118
	②	0	0	2	1	0	0	1	2
	③	0	0	1	0	0	0	1	1
	④	1	0	9	1	4	0	5	10
主任介 護支援 専門員	①	19	17	68	16	53	4	31	104
	②	2	0	2	1	1	1	1	4
	③	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	7	0	20	9	6	1	11	27
計		93	61	361	91	243	30	151	515

・出張地域包括支援センター（相談コーナーの設置）

開催回数 2回 参加者数 131名 相談者数 0件

・認知症初期集中支援

5件

・東みよし町における困難事例要因調査の実施

個別地域ケア会議における地域課題の抽出を行いました。

3. 地域包括支援ネットワーク構築

地域及び関係機関、民間事業所との連携を図ることで、地域の実情に応じたネットワークを構築し、早期発見・見守り体制の強化に取り組んでいます。

- ・地域包括支援ネットワーク構築 開催回数 126回 参加者数 2,109名
- ・ネットワーク会議の開催・参加 開催回数 11回 参加者数 184名
- ・地域ケア会議等の開催 開催回数 8回 参加者数 86名
- ・さんカフェの開催 開催回数 10回 参加者数 106名

4. 実態把握調査

訪問等により高齢者の実態把握を行い、サービス利用の支援や情報提供、ネットワークによる見守り活動などにつながるよう支援活動を行っています。

事業別調査状況

事業名	件数	備 考
実態把握	399	訪問による実態把握
緊急通報装置貸与事業	0	東みよし町実施の高齢者在宅福祉事業
運転免許証返納者への対応	10	生活支援連絡制度
合 計	409	

Ⅲ. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮し続けることができるよう、個々の高齢者の状況変化に応じた適切なケアマネジメントの長期的な実施、ケアマネジャーの資質向上のためケアマネジャーの日常的個別指導、支援困難事例等への指導・助言、ケアマネジメントの公正・中立性の確保を図るため、地域のケアマネジャーの後方支援をするとともに、多職種の連携・協働による長期継続ケアの支援を行っています。

1. 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

区 分	実施回数	参加者数
関係機関との連携づくり	50	972
医療機関との連携体制づくり	10	217
地域のインフォーマルサービスとの連携づくり	66	920

・主治医と介護支援専門員との連携体制の構築

主治医と介護支援専門員との円滑な連携体制の構築のため、連携シートの有効な活用促進を行います。

・地域ケア会議等により効果的な介護予防・生活支援サービスの総合調整の活動促進を図っています。

・高齢者の自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントを多様な専門職の助言を踏まえ、支援内容の充実を図ります。

自立支援ケア会議の開催 開催回数 2回 参加者数 62名

・福祉事業所との連携体制の構築

グループホーム及び小規模多機能運営推進会議 参加回数 0回 参加者数 0名

2. 介護支援専門員に対する個別支援

	区 分	実施回数	担当		
			保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員
1	支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	25	0	2	23
2	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	4	0	4	0
3	質の向上のための研修	6	0	0	6
4	介護支援専門員のケアマネジメントの指導	9	1	3	5
5	介護支援専門員同士のネットワーク構築	3	0	0	3
6	介護支援専門員に対する情報支援	38	0	3	35
7	居宅サービス事業所等への研修等の働きかけ	12	0	0	12
8	その他（委託事業所説明会等）	0	0	0	0

- ・ ケアマネ研修会の開催・参加 開催回数 14回 参加者数 1,074名
- ・ 資質向上のための研修会の開催・参加 開催回数 65回 参加者数 4,387名
- ・ 介護支援専門員に対する個別支援 実施回数 96回

IV. 介護予防給付・総合事業のケアプラン

介護認定において要支援1・2と判定された人と事業対象者を対象に、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるように、要支援状態の悪化の防止や自立を目指して介護予防ケアプランを作成し、適切にサービスが提供されるよう連絡調整を行いました。

1. 介護予防支援給付管理状況 (件)

作成数	年度分			月遅れ			合計	月平均
	新規	初回	継続	新規	初回	継続		
要支援1	10	0	288	3	0	0	301	25
(内委託分)	0	0	24	0	0	0	24	2
要支援2	20	3	1,186	5	0	6	1,220	102
(内委託分)	0	0	56	0	0	0	56	5
合計	30	3	1,474	8	0	6	1,521	127
(内委託分)	0	0	80	0	0	0	80	7

2. 介護予防ケアマネジメント(総合事業)給付管理状況 (件)

作成数	年度分			月遅れ			合計	月平均
	新規	初回	継続	新規	初回	継続		
事業対象者	3	0	243	0	0	0	246	21
(内委託分)	0	0	12	0	0	0	12	1
要支援1	12	0	253	0	0	0	265	22
(内委託分)	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	13	0	582	2	1	5	603	50
(内委託分)	0	0	13	0	0	0	13	1
合計	28	0	1,078	2	1	5	1,114	93
(内委託分)	0	0	25	0	0	0	25	2

3. 介護予防ケアプラン・総合事業ケアマネジメント作成数

※サービス担当者会を実施した作成プラン数

	介護予防ケアマネジメント	総合事業ケアマネジメント	合計
件数(件)	283	231	514

4. 介護予防支援業務委託の状況

委託事業所別件数

委託事業所数（令和5年3月末現在）

事業所名		3月件数（件）
管内 事業 所 (5)	健生西部診療所	1
	健祥会ケアプランセンターみよし	4
	合同会社 あさひ	0
	合同会社 はちどり	3
	あいの郷	1
管外 事業所 (1)	ケアプランセンター海薔	1
合 計		10